

2つのあそび方



準備物



①イラストの確認

全員でビンゴシート右側のイラストを全部読む。

②ビンゴの作成

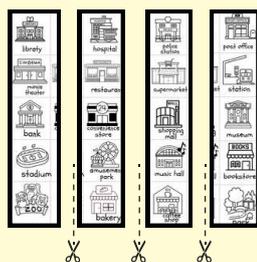
自分の町にほしいものを9つ選んで、ビンゴシートにはる。
左上の地図のように、すでに学校はあります。

この作業に時間はかけたくないのだからタイマーをセットし、時間制限を決めます。

3分タイマーを作りました。有料（300円）ですが、よかったら使ってください^^♪→



私は「1枚1枚切らずに、頭を使って賢く切って」と指示していました。始めから全部切り離してしまうと、机の上が散らかるし、何がどこにあるのかわからなくて、余計に時間がかかります。



例えば、縦に4つの短冊に切ります。必要なイラストだけ、切り落としていくと、どのイラストが残っているのかすぐにわかります。こういったやり方は、「適当に切らずに、頭を使って賢く切って」と指示すると、教えなくても自分たちで思いつきます。

③ビンゴゲームスタート

遊び方1：普通のビンゴ



Me too!

I want a ... in my town.



同じものを選んでいれば、Me too.と言って、ビンゴシートに○を付ける。
リスニング活動でもあるので、**すぐに絵カードを見せたり、日本語で言わない。**

英語では「リーチ」にあたる言葉がありません。もし、リーチを英語で言うなら、こんな感じです。
One more to go! (あと1つ) One left! (残り1つ) One last one! (最後の1つ) I'm almost there! (あと少しです)
「リーチ」を使ってもいいと思います。ただ、「日本だけのルールで、英語はビンゴとだけ言うんだよ」と教えてあげてください (異文化理解)

遊び方2：ヒューマンビンゴ (インタビュー活動)



What do you want in your town?

Me too!

I want a zoo in my town.



教室を歩き、たくさんの人と会話をして、ビンゴを目指します。
もし、自分が選んでいないものを相手が出した場合、その理由を尋ねるとより良いです。日本語で答えてもいいですが、likeやcanで簡単な英語で答えられるものもあります。Becauseは文頭に来るので、発音を教えればそれほど使うのは難しくありません。
I want a stadium. Why? Because I like soccer. I play soccer.
I want a library. Why? Because I like books.
I want a park. Why? Because I can walk my dog there.
I want a convenience store. Why? Because I can shop anytime.